

WEEKLY NEWS 2017 週報 通算 2204回《17回》

第2640地区

和歌山東南 ロータリークラブ

<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>



会長 土屋一博 幹事 中曾真二郎
会報委員長 山本真司

例会日：水曜日 例会場：ミール華月殿
第1・第2：18:30～(夜)
第3・第4・第5：12:30～(昼)
事務局 E-Mail
a-rotary@coral.cypress.ne.jp

本日の例会
11月9日(水)
18:30～華月殿

・開会点鐘 土屋会長 ・ローターソング 四つのテスト ・出席報告 ・ニコニコ箱(寄付金)報告
・会長挨拶 ・幹事報告 ・委員会報告 ・行事 外部卓話「野菜ソムリエとは?～野菜ソムリエの活動と役割～」野菜ソムリエ 鯉坂美智子様 ・閉会点鐘 土屋会長

先週例会報告 会場監督 山田さち子

ゲスト：RI2640地区ローター財団委員長 中野均様、米山奨学生 ディリニニサンサラ様

会長挨拶

土屋 一博 会長



皆様こんばんは。ゲストの地区財団委員長 中野様ようこそおいでいただきまして有難うございます。本日の卓話 勉強させて頂きます。又、ゲストの米山奨学生のディリニニさんようこそいらっしやい、例会を楽しんで下さい。

さて11月第1例会は、次期の役員・理事候補を指名委員会から発表することになっています。クラブ細則第3条第1節により、10月の第1例会で、11月第1例会に於いて、来年度の役員・理事の候補者を選出する旨の告知を行い、本日迄立候補の申し出がございませんでしたので、指名委員会から来期役員・理事候補者を発表致します。

「役員」会長 鯉 拓也会員、会長エレクト 中岡隆文会員、副会長 西口昭一会員、

幹事 宇治田堅三会員、会計 小林一三会員、会場監督 塩崎和仁会員

「理事」坂口和男会員、市川正夫会員、山本真司会員、楠見珠緒会員、鯉坂恒夫会員

12月第1例会の年次総会に於いて、出席者の投票により当選を決定いたします。

さて、今月はロータリー財団月間です。今年は、地区大会、地区研修協議会、クラブ協議会又、本日地区ローター財団中野委員長からもご説明が有るかと思われませんが、『ロータリー財団 100 周年』となっています。まず、「アーチC.クランプ」氏は6人目の RI 会長で財団の基礎と発展に尽力を尽くした人です。「アーチC.クランプ氏は財団の他、1915 年に RI の新定款を起草する委員会の委員長になり、標準ロータリークラブの定款と細則を作成しています。この中で地区を設け、地区ガバナー職を作り、年次大会を確立しています。1912～1913 年度のクリーブランド・ロータリークラブ会長の最後のスピーチで“非常時基金”の提案をしています。1917 年 RI 会長の時“ロータリーが基金を作り、世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野で良いことをしようではないか”と提案し基金ができ、ミズーリ州カンザスシティ RC から最初の寄付金 26 ドル 50 セントが寄せられました。2 回目はサンフランシスコ RC からでした。これが、将来ロータリー財団に発展します。」その後 100 年を経たのが今期となるわけです。以上です。

ロータリー財団

谷口 拓 会計



中曾君・財団委員長 中野様 ようこそお越し下さいました。本日、卓話宜しくお願いします。

郷間君・地区財団委員長 中野様 本日はよろしくお願ひいたします。

山本(唯)君・中野地区財団委員長 ご苦労様です。



和歌山東南ロータリークラブ

	ニコニコ	米山記念奨学会	ローター財団	東南育英会
累計	999,456	260,000	171,000	16,000

出席報告			出席者	出席率
会員総数	44 名	11/2	26 名	63.41%
出席免除会員	3 名	10/19	37 名	88.10%

幹事報告

中曽真二郎 幹事

- ① 和歌山城南 RC 松本会員のご尊父がご逝去されました。クラブより弔電をお送りしています。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
- ② ロータリーレート 11月分は1\$=102円です。
- ③ 地区より2件案内が届いています。
 - ・地区大会ご参加のお礼、地区大会記念ゴルフ大会ご参加のお礼状
 - ・インターアクトクラブ海外研修オリエンテーションの案内日時・場所・登録料:11月13日(日)10:30~14:30、初芝立命館中学校・高等学校、ロータリアン 5,000円
- ④ 若者サポートステーション わかやまよりチラシが届いております。各テーブルに一部置いています。お目通しいただき、御入用の方はお持ち帰りください。
- ⑤ ガバナー月信 11月号を各テーブルに一部置いています。お目通し下さい。
- ⑥ 本日例会終了後、定例理事会を開催いたします。役員・理事の皆様、よろしくお願い致します。



ニコニコ箱

谷口 拓 会計

地区 ロータリー財団委員長 中野様・皆様にとって内容のある話をさせていただき自信がなく、財団 100 周年と補助金の話しでお許しください。
土屋君・ロータリー財団委員長 中野 均様、本日卓話よろしくお願いします。
籠田君・地区ロータリー財団委員長 中野様、本日はクラブフォーラムよろしくお願い致します。
宇治田君・10/26(水)和歌山中 RC との親睦ゴルフでドラゴン賞・ニアピン賞を頂きました。
本人お誕生日お祝い・角谷君、辻本君、楠見君。
配偶者お誕生日お祝い・奥村君。
結婚記念日お祝い・神谷君。



米山記念奨学会

小林君・米山記念奨学会よろしく。

11月お誕生日お祝い（ご本人・配偶者）



「米山奨学生へ土屋会長より11月分奨学金・奨学生証受渡し」
2016-2017年 米山奨学生 リティガラ ディリニ ニサンサラさん（スリランカ）



クラブフォーラム ロータリー財団委員会 「ロータリー財団 100 周年と補助金」について
国際ロータリー第 2640 地区 ロータリー財団委員会 中野 均委員長



ロータリー財団 100 周年
ロータリー財団の使命として

「ロータリアンが健康状態を改善し教育への支援を高め貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにする。」

1917年6月18日アトランタで開催された国際大会で、当時のアーチ・クラフ会長らのひらめきでロータリー財団の基礎が出来、最初26ドル50セントの寄付から10億ドルの財団に成長した。この年のアーチ・クラフのビジョンとして、「諸々の社会奉仕を今まで通りに実行していくには、事前・教育・その他の社会奉仕の分野において「世界でよいことをする」た

めの基金を作るのが、極めて適切であると思われる。」後にこのビジョンを土台として誕生したのがロータリー財団です。

1927年に正式にロータリー財団という名称に変更された。

1930年に初の補助金を国際身体障害児協会（後のイースター・シールズ）に授与した。

1947年に大学院奨学金のプログラムを開始。その後の70年間に更新を重ね現在に至っている。ロータリーの奨学生で、日本人では山崎直子さんや緒方貞子さんなどがおられます。1960年代には「技術研修のための補助金」と「研究グループ交換」のプログラムが導入されましたが、2013年に「職業研修チーム（VTT）」に代わり実施されている。

1979年には、フィリピンの子供たちにポリオ予防接種を提供する活動が開始された。

2013年から新しい補助金モデルが全世界で導入され、マッチング・グラント、国際親善奨学金、研究グループ交換（GSE）が廃止されたがその要素はその後継がされている。

補助金について

寄付金は3年間投資運用され、その後、地区活動資金（DDF）として50%、国際活動資金（WF）として50%が使える。この DDF 50%の内25%が地区補助金として、各クラブや地区で小規模事業で使え、残り25%はグローバル補助金として、6つの重点分野に該当する事業に使用できる。外国のロータリークラブと共同で実行し、3万ドル以上の事業で継続性が要求される。従って利用しづらいが各クラブからの申請を待っています。

2016-17年度:ロータリー財団100周年

2016

財団100周年を祝う最初の祝賀行事
韓国でのロータリー国際大会
(5月28日～6月1日)

2017

幕締めとなる祝賀行事
アトランタ(米国)でのロータリー国際大会
6月10日～14日

www.rotary.org/ja/foundation100

Rotary

THE ROTARY FOUNDATION



YEARS OF DOING GOOD IN THE WORLD

1万円寄付

3年間投資



DDF
50%



W F
50%

DDF
地区財団活動資金
我々のクラブや地区
で使えます

W F
国際財団活動資金
グローバル補助金
の上乗せに使います

分け合いますのでこれを
「シェアシステム」と呼びます。



「JR和歌山駅西
口花壇 花苗植
え替え作業」

日 時：11月6日(日)
10:00～11:00

場 所
JR和歌山駅西口花壇

参加者(3名)
土屋会長、中曽幹事
塩崎社会奉仕委員長

